



7月10日(水)、旭小学校の3,4年生が参加した海藻おしば教室のアンケートより。

- ・日本全国で、15,000種類も海藻があることにおどろいた
- ・見たこともない海藻もあって、すごくびっくりした
- ・海にも森があるんだ、と思った/陸の森とほぼ同じ働きをしていると思った
- ・細い海藻で文字を作ったのが楽しかった
- ・自分が海藻の役をやって、海藻がいろいろなゴミをとっているなんて、初めて知った
- ・初めてやる人でも、うまく完成できるのはびっくりした
- ・ストローで丸い形ができるって、初めて知った
- ・私は、海のことが大好きで、海のことをもっともっとたくさん知りたい
- ・海の森の話もわかりやすかった
- ・海藻があんなにきれいで、あんなに私たちの役に立っていると知って、海藻をもっと大切にしようと思った



- ・全部、めちゃめちゃ楽しかった
- ・海藻で、あんなにきれいな絵をかけた
- ・海藻の色がいろいろあってきれいだった
- ・海の大切さを知ることができたし、海藻おしばもすごくうまくできた/みんなもうまくできた
- ・海藻にも、一つ一つに名前があり、一つ一つ色がちがう、今日それを初めて知ってとても感動した
- ・説明が分かりやすくて、海藻のことを良く知ることができてよかった
- ・はがきを海藻で作るのもすごいし、海藻の種類や海の森の勉強までできて一石二鳥だった
- ・海藻の森が消えてしまうのは、魚たちに大きな影響を与えるのではないだろうか



あるお宅から眺めた油壺湾。まるで湖のような絶景です。油壺湾が、台風の風待ち港であることも、実感として理解できます。

敷地内には、戦時中の海軍の小型有翼潜水艇「海龍」の基地の跡である壕が複数残っています。(右の写真) 当時の、三浦の地理的な重要性がわかります。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで